



料金後納

ゆうメール

世田谷パブリックシアター SETAGAYA PUBLIC THEATRE

学芸プログラム 通信 No.9 2021年9~10月号



拝啓 向寒の候、皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

2019年より継続してきた下馬地区アートプロジェクト「極楽フェス'21」(9月4日、5日)の準備を進める中、8月は、新型コロナウイルスの感染者数が増え続け、開催、延期、中止の3択を巡って、関係団体・組織とさまざまな意見を交わすことになりました。最終的に、下馬2丁目北町会のみなさんが「開催しましょう」とおっしゃってくださったことが後押しとなり、新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、人数を限りなく制限するという形をとることで、開催にこぎつけました。最中は無我夢中でしたが、終わって振り返りますと、何とか形にすることで「アートフェスティバル」のイメージを、地域内で共有できたことが、今後につながるための一番の成果となったように思います。

10月31日には世田谷区立中学校の演劇部が成果を発表する「世田谷区立中学校演劇発表会(通称:区大会)」が開催され、技術支援と演劇部がない中学校の生徒たちへの発表支援を行いました。2020年度の区大会は中止だったため、今年度は生徒たちの場がなくならず本当に良かったと思います。この先がどうなるか見通せませんが、今後でもできることを少しずつ実現していきたいと考えています。

敬具

*WS=ワークショップの略

世田谷パブリックシアター 学芸事業の今後の予定(11月~12月) 10月31日時点

| | | | | |
|-----------|---|---|---|----------------|
| 11月 | 11月1日(月) | 演劇WSラボ【ラボ自主企画】「絵本読み聞かせクラブ」 | 演劇WS専門家育成 | |
| | 11月1日(月) | かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| | 11月4日(木) | かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| | 11月6日(土) | 「親子えんげき体験ひろば」(UR都市機構) | 地域連携プログラム:依頼毎 | |
| | 11月6日(土) | 演劇WSラボ【ラボ自主企画】「コロナ禍で開発した対面ゲームを活用したWSを実践に結びつけるクラブ」 | 演劇WS専門家育成 | |
| | 11月9日(火) | かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| | 11月10日(水) | かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| | 11月12日(金) | かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| | 11月13日(土) | 国際協働プロジェクト ドラマボックス(シンガポール)×世田谷パブリックシアター | 国際協働プロジェクト | |
| | 11月14日(日) | 国際協働プロジェクト ドラマボックス(シンガポール)×世田谷パブリックシアター | 国際協働プロジェクト | |
| | 11月14日(日) | 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部 ~区大会編~ 12/12回目 | 中学生のための区大会支援 | |
| | 11月15日(月) | かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| | 11月16日(火) | かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| | 11月17日(水) | かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| | 11月18日(木) | 下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」 | 高齢者の居場所づくり | |
| | 11月22日(月) | かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| | 12月 | 11月23日(火・祝) | 演劇WSラボ【ラボ自主企画】「コロナ禍で開発した対面ゲームを活用したWSを実践に結びつけるクラブ」 | 演劇WS専門家育成 |
| | | 11月24日(水) | かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 |
| 11月25日(木) | | かなりゴキゲンなWS巡回団@烏山中学校2年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| 11月25日(木) | | かなりゴキゲンなWS巡回団@ほっとスクール城山 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| 11月28日(日) | | 国際協働プロジェクト ドラマボックス(シンガポール)×世田谷パブリックシアター | 国際協働プロジェクト | |
| 11月28日(日) | | 『デイ・イン・ザ・シアター』①/② | 劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS | |
| 11月30日(火) | | かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| 12月1日(水) | | かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生 | 区内小中学校訪問WS:依頼毎 | |
| 12月2日(木) | | 下馬地区アートプロジェクト「表現クラブ・極楽」 | 高齢者の居場所づくり | |
| 12月4日(土) | | 演劇WSラボ【ラボ自主企画】「コロナ禍で開発した対面ゲームを活用したWSを実践に結びつけるクラブ」 | 演劇WS専門家育成 | |
| 12月6日(月) | | 演劇WSラボ【ラボ自主企画】「絵本読み聞かせクラブ」 | 演劇WS専門家育成 | |
| 12月11日(土) | | 演劇WSラボ【ラボ自主企画】「コロナ禍で開発した対面ゲームを活用したWSを実践に結びつけるクラブ」@桜丘児童館 | 演劇WS専門家育成 | |
| 12月11日(土) | 国際協働プロジェクト ドラマボックス(シンガポール)×世田谷パブリックシアター | 国際協働プロジェクト | | |
| 12月12日(日) | 国際協働プロジェクト ドラマボックス(シンガポール)×世田谷パブリックシアター | 国際協働プロジェクト | | |
| 12月16日(木) | 下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」 | 高齢者の居場所づくり | | |
| 12月18日(土) | 『デイ・イン・ザ・シアター』①/② | 劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS | | |
| 12月19日(日) | 『デイ・イン・ザ・シアター』③/④ | 劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS | | |

2021年9月～10月学芸事業一覧

劇場 …… 劇場内で実施するWS 地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するWS その他 …… 一般の方に向けたレクチャーや人材育成の取組

9月

- 2日(木) 下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」**地域連携** 14:00～16:00 [写真を撮って下馬で展示会をしませんか] (進行役: 金川晋吾)
- 4日(土) 下馬地区アートプロジェクト「極楽フェス'21」**地域連携** 12:00～17:00
- 5日(日) 下馬地区アートプロジェクト「極楽フェス'21」**地域連携** 10:00～16:00
- 10日(金) 演劇WSラボ [ラボ自主企画]「絵本読み聞かせクラブ」**その他** 18:00～21:00
- 10日(金) 国際協働プロジェクト ドラマボックス (シンガポール)×世田谷パブリックシアター ① 19:00～22:00 [専断あるケアを考えるWS (8月) オンライン報告会]
- 11日(土) 演劇WSラボ [定例会]「お互いを知り合う オンラインおしゃべり会」⑨ **その他** 19:30～21:00
- 12日(日) 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～ 1/12回目 **劇場** 13:00～17:00 (進行役: 金谷奈緒)
- 13日(月) 演劇WSラボ [定例会]「お互いを知り合う オンラインおしゃべり会」⑩ **その他** 19:30～21:00
- 16日(木) 演劇WSラボ [定例会]「お互いを知り合う オンラインおしゃべり会」⑪ **その他** 10:30～10:30
- 18日(土) 国際協働プロジェクト ドラマボックス (シンガポール)×世田谷パブリックシアター ② 12:00～17:00 [専断あるケアを考えるWS (9月) 1日目] (進行役: 花崎雄・八幡聖樹)
- 18日(土) オンライン演劇WS どこでも劇場「あっちこっちながってみよう」**その他** 17:00～20:00 [おしゃべりからはじめよう 海外に住んでいる人編] (進行役: 南波圭、吉田梨乃、矢部久美子) オンライン授業が多く、交流の機会が減っている学生を対象に、海外で暮らす人々と出会う多様な場を創出した。フランス、イタリア、インドネシアを拠点とした3名のゲストの方に、参加者がインタビューを行った。参加者にとっては、これから歩む人生を考えるきっかけとなり、ゲストの方にとっては、歩んできた人生を振り返る機会となった。
- 20日(月) 国際協働プロジェクト ドラマボックス (シンガポール)×世田谷パブリックシアター ② 12:00～17:00 [専断あるケアを考えるWS (9月) 2日目] (進行役: 花崎雄・八幡聖樹)
- 20日(月) 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～ 2/12回目 **劇場** 13:00～17:00 (進行役: 金谷奈緒)
- 23日(木) 演劇WSラボ [ラボ自主企画]「ディスタンスクラブ 対面ゲーム開発班」**その他** 14:00～17:00
- 24日(金) 「デイ・イン・ザ・シアター」1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ **劇場** 13:30～15:30/17:30～19:30 [みんなのおもいでマップ編] (進行役: 有吉寛人)
- 24日(金) 国際協働プロジェクト ドラマボックス (シンガポール)×世田谷パブリックシアター ② 19:00～22:00 [専断あるケアを考えるWS (9月) オンライン報告会]
- 26日(日) 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～ 3/12回目 **劇場** 13:00～17:00 (進行役: 金谷奈緒)
- 27日(月) かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生 **劇場** (進行役: すずきこた)
- 29日(火)



「ゲスト: フランスのマッサージ師」日本で仕事が多岐にわたる。庭園に行った時の経験から、おしゃべり会では、おしゃべり会ではないかと感じた瞬間。



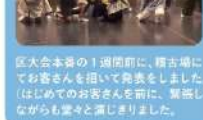
自分たちの思い出を撮って1つの冊子をつくり思い出を深めました。



報道の中に置かれている登場人物になりきって4人で1つの絵画を表現しました。



複数のコマ割りからなる「劇画」の1ページを、体で表現。集中棒や効果音など、コマに書かれているものを全て参加者同士で表現すると、ダイナミックな迫力あるシーンが生まれ上がりました。



区大会本番の1週間前、稽古場にてお客さんを招いて発表をしました。(はじめてのお客さんを前に、緊張しながらも楽しげに演じました。)

10月

- 3日(日) 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～ 4/12回目 **劇場** 13:00～17:00 (進行役: 金谷奈緒)
- 8日(金) 演劇WSラボ [定例会]「お互いを知り合う オンラインおしゃべり会」⑫ **その他** 10:30～11:00
- 9日(土) 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～ 5/12回目 **劇場** 13:00～17:00 (進行役: 金谷奈緒)
- 10日(日) 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～ 6/12回目 **劇場** 13:00～17:00 (進行役: 金谷奈緒)
- 10日(日) オンライン演劇WS どこでも劇場「あっちこっちながってみよう」**その他** 13:00～17:00 [あなたもなりきりミュージアム] (進行役: 櫻井真)
- 16日(土) 美術やアートが身近なものになるように、美術作品と遊ぶ企画を考えた。オンライン上で公開されている美術館のデータベースを使い、作品の背景や内容について想像し、「作品」になりきって演じた。絵画のほかにも、彫刻や石像などの作品も選ばれ、作品たちがお互いに関わりながら話す場面が生まれた。
- 17日(日) 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～ 7/12回目 **劇場** 13:00～17:00 (進行役: 金谷奈緒)
- 18日(月) かなりゴキゲンなWS巡回団@八幡山小学校1年生 **地域連携** (進行役: すずきこた)
- 19日(火)
- 20日(水) 「デイ・イン・ザ・シアター」1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ **劇場** 13:30～15:30 [秋のアート編] (進行役: 大塚明香) / 17:30～19:30 [秋のアート編] (進行役: 青山公美)
- 23日(土) 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～ 8/12回目 **劇場** 13:00～17:00 (進行役: 金谷奈緒)
- 24日(日) 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～ 9/12回目 **劇場** 13:00～17:00 (進行役: 金谷奈緒)
- 26日(火) かなりゴキゲンなWS巡回団@山野小学校5年生 **地域連携** (進行役: すずきこた)
- 28日(木)
- 30日(土) 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～ 10/12回目 **劇場** 13:00～17:00 (進行役: 金谷奈緒) 年間を通じて実施している中学生向けの演劇ワークショップ「演劇部 中学生の部」では、秋に行われる「世田谷区中学校演劇発表会(通称: 区大会)」に向け、9月初旬より全10回のワークショップを重ねた。中学生自身が作品のテーマや内容を決め、みんなで作り上げた作品は、「星の王子様」を下敷きに、「子ども」の目から見た「大人」の姿を描くものとなった。
- 31日(日) 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～ 11/12回目 **劇場** 13:00～17:00 [区大会] (進行役: 金谷奈緒)

『極楽フェス'21』までの道のり



2018年12月・劇団ドラマボックス (シンガポール) の行う公園住宅でのアートプロジェクト「Both Side's Now」を、別プロジェクトでシンガポール滞在中に劇場スタッフとアーティストたちが観察。生と死をテーマにするプロジェクトに感化され、日本でも団地でのアートプロジェクトが出来ないかと検討を始める。

2019年10月・劇場スタッフが間違った都営下馬アパート集会所で偶然社会福祉協議会下馬・野沢地区事務所 (以下、社協) 担当と出会う。

2019年10月・社協と何が出来るか打ち合わせ開始。まずは手始めに下馬地区会館で1月の演劇WS「**デイ・イン・ザ・シアター**」(以下、**デイ**) を行うことに。
※ 2020年1月 NPO法人演劇百貨店と共に Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成金申請 (アーツカウンシル東京主催)

2020年3月～9月・新型コロナウイルス感染拡大を受け、「**デイ**」中断。
※ 2020年4月 Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成金採択されるが新型コロナウイルスで計画見直し

2020年9月・社協、下馬2丁目北町会 (以下、町会) の皆さんと「**デイ**」再開に向けて打ち合わせ。

2020年10月・「ともに生きている人を見捨てない、自分を見捨てない」という「極楽」の教えを知り、「**デイ**」の企画書を「**表現クラブ・極楽**」「**写真クラブ・極楽**」に変更。下馬都営アパート集会所で再始動。

2021年1～3月・下馬地区にお住まいの高齢者の方のお話から演劇をつくり、3月のシアターラムでの「地域の物語」内で発表することを計画。

① クラブで出会った方たちなどにインタビューを行い、内容を「聞き書き」にまとめる。
② 番外編企画「大～きな下馬の地図をつくるよ!」を実施。床一面に戦後直後の下馬地区の巨大地図を広げ、その上に思い出を書きこもう。
③ ②をベースに演劇をつくる。

・ 2021年2月24日 [中間発表] 1回目@下馬アパート集会所
・ 2021年3月11日 [中間発表] 2回目@下馬アパート集会所
・ 2021年3月21日「地域の物語」発表会@シアターラム

2021年4月15日・社協、下馬あんしんすこやかセンター、下馬2丁目北町会、アーティストなどが集い、アートフェスティバル実施の可能性について、改めて打ち合わせ。新型コロナウイルスの状況は不明だが、ともかくやってみようということに。「極楽フェス」という名前を提案して賛成してもらう。

2021年6月28日・下馬に関わる他の福祉団体やNPO団体などにお声かけし、集まった9団体: 下馬2丁目北町会、社会福祉法人世田谷ボランティア協会 (世田谷ボランティアセンター、ケアセンターふらっと、地域障害者相談支援センター ほーんとせがや)、世田谷区立下馬福祉工房、下馬あんしんすこやかセンター、下馬まちづくりセンター、社協、世田谷区立世田谷福祉作業所 (以下、世田福) と主催の世田谷パブリックシアター、NPO法人演劇百貨店とで**全体打ち合わせ**を行う。

2021年6月～8月・各プログラム決定、会場レイアウトも検討をはじめ。以降、プログラム会場ごとの打ち合わせ、準備。

実施日: 2019年10/18、11/11、12/16、2021年1/9、2/10

「いつまで新型コロナウイルスが続くのが分からない中、人と出会う機会が重要だと感じた。感染対策を実施しながら可能な範囲で開世したい」「男性が参加しやすいプログラムが必要」などの声をいただきました。

[表現クラブ・極楽]
実施日: 2020年10/7、11/4、12/2、2021年1/13、2/3、3/3
[写真クラブ・極楽]
実施日: 2020年11/19、12/17、2021年1/21、3/25

実施日: 2021年1/9、14、21、23、29、30、2/2、8、3/1
聞き書きとは? 話して下さった内容をその方の口調などを活かしてまとめるものです。テープ起こしとは違い、聞いた人・書いた人の印象が色濃く伝わるようになって構成されます。世田谷パブリックシアターの演劇WSではこの手法をよく取り入れます。

実施日: 2021年1/27、29



「地域の物語」発表会@シアターラム

高齢者だけでなく、子どもや子育て世代など多世代がつながる機会にしたい。ボランティアに関心のある層と出会いたい、団地の抱える課題をみんなで共有したい、などの意見がありました。さらにフォーラムシアター、すごろく、ツアー型演劇などアーティストが持ち寄った案を共有して、「極楽フェス」のイメージを具体化させていきました。

新たに加入した団体からは、「利用者が自分の人生を伝える場をつくりたい」「利用者が参加できる企画をしたい」などの声があり、「とも」の部屋や「しるまる君ダンス」などのプログラムが生まれました。

フォーラムシアター
「ピンピン、ヨタヨタ、ドタリの話」
地域が抱える課題を題材にした劇を上演し、その演劇を元に観客が話し合うフォーラムシアターを行うことに。あんしんすこやかセンター、居住者たちの話を聞きながら内容を決めていった。
取材: 7/1 打ち合わせ: 7/30、
稽古: 8/14、15、24、31、9/1、2、3

下馬人生スゴロク演劇「極楽への道」
下馬の兵衛時代から現在までの話と、そこから「極楽」、つまり死まで「考えたいこと」「選択したいこと」をすごろくで表現。地域の皆さんのお話をACP (アドバンスドケアプランニング) の要素も盛り込み準備した。
打ち合わせ: 6/17、22、29
お話し会: 7/1、7/29、7/30、8/23
すごろく作成: 7/12、15、26、8/2 稽古: 8/3、11、23

ツアー型演劇
「**介助と障害を巡る旅～ゆうじさんちシアター**」
「老い」と「障害」をテーマに、脳性麻痺の東方裕二さんと介助者へのインタビューから開始。「生」と「死」が重くのしかかる内容を参加者もまた体験できるよう、ゆうじさんの自宅も訪問するツアー型演劇にしていた。
取材: 5/6、11、17
話し合わせ: 8/3 稽古: 8/12、21、24、9/3

「とも」の部屋～黒田真史さん
18歳で交通事故にあった黒田さんのお話を聞いて、学生ボランティアたちが作品を創ることに。指一本しか動かさない中で、果敢に活動してきた40代までの人生を演劇にまとめ、黒田さんが大事にしてきたことが伝わるように工夫した。
活動: 8/23、28、29、30

写真展示「写真クラブ・極楽」
クラブの成果発表を目指し、「参加者ひとりひとりの人生」「生の声」が伝わるように、写真に込められた想いを録音するなどの準備も行き、特徴あるスペースで展示した。
活動: 6/3、17、7/1、15、8/5、19、9/2

会場装飾
福祉団体の利用者さんたちにも自分たちのフェスだと思ってもらいたいので、会場装飾と一緒にWSを実施し装飾準備を行った。
世田福 WS: 8/2、8/12、8/20
下馬福祉工房 WS: 8/24

「下馬兵衛時代の思い出の絵地図」
下馬地域の皆さんから昭和20～30年代の様子を聞いたお話をもとに、一枚の絵地図を作成し、来場者の思い出し語る場づくりを行った。
取材: 6/30、7/13、8/10

「ひらけ絵本!」
活動: 8/30



8月20日(金) 16:00～18:00 緊急事態宣言の延長が発令 (8/17) され、「極楽フェス'21」開催可否について打ち合わせ。複数の企画が中止になる。緊急事態宣言の延長で会議室利用が不可にならない限りは実施する方針とする。

8月21日(土) 町会より「新型コロナウイルスの感染は拡大しているがやれる範囲・人数で実施しましょう。」と書いていただく。

8月24日(火) 17:00～19:00 オンライン 打ち合わせ

8月30日(月) 12:00～13:00 感染対策について最終確認

9月4日(土)・5日(日) 下馬地区アートプロジェクト『極楽フェス'21』開催

会場1 しあわせのりありあけBAWA 会場2 世田谷ボランティアセンター



『極楽フェス'21』

超高齢化社会における、地域がつながるアートプロジェクト

実施日：9月4日(土)/9月5日(日) 会場：世田谷ボランティアセンター/しあわせのもりあわせBAWA

入場者数：206名 関連事業参加者(公演・展示に付随したワークショップ等)：471名



都宮下馬アパートのある世田谷区下馬は、高齢化が急速に進み、高齢者の孤立や孤独死、地縁やコミュニティの喪失などの地域課題が多く浮上しています。このような課題に、アートを通じて向き合ってみようと、地域で活動する団体・組織(9団体)が、それぞれの特性や専門性を活かして連携し、実施したのが「極楽フェス'21」です。「生きること、死ぬこと」という普遍的なテーマを据え、人々が死に向かう生をいかに生きていくかを、下馬に暮らす人々と考えることを目的に実施しました。

今回の「極楽フェス」の成果には、次の3つが挙げられます。まず、地域に暮らす方たちの人生や思いを描いた演劇作品によって、日常生活とは異なるアプローチで他者を理解する場を生み出すことができました。「介助と障害を巡る旅～ゆうじさんちシアター」(写真1～3)では、重度脳性麻痺の実方裕二さんとその介助者の方々の語りからなるツアー型演劇を、「ともにゃの部屋～黒田真史さん」(写真4)では、18歳での交通事故で高次脳機能障害となった黒田さんのお話から演劇をつくりましたが、お二方を昔から知る人達でさえ知らない一面や、思いを伝える機会になりました。これまで出会ったことのない

た、共に地域社会に暮らす「誰か」のとこを想像し、関心を持つきっかけにもなったように思います。

次に、参加型のプログラム(下馬人生スゴロク演劇「極楽への道」(写真5、6)、フォーラムシアター「ピンピン、ヨタヨタ、ドタリの話」(写真7、8)では、地域住民たちが、自身や家族の終末や地域社会のこれからのありようといった地域課題について、演劇を観て、感じることで、意見をより深く、気軽に交換する場を設けることができました。

最後に、地域に暮らす高齢者の皆さんとワークショップを定期的に重ね、発表作品へとまとめたプロセスでは、参加してくださった皆さんに「表現する/伝える喜び」を知っていただけました。2020年度から活動している「写真クラブ・極楽」(写真9、10)や「下馬兵舎時代の思い出の絵地図」(写真11)では、当初、「発表なんてとんでもない」「自分の話なんて面白くないでしょ」などとおっしゃっていた皆さんが、発表の場を経て、今では次の作品への意欲を高めています。

「極楽フェス'21」は、このように地域の多様なつながりや交流を生み出し、超高齢化社会における、アートを通じた地域連携のモデルの可能性を予感させるものとなりました。活動は現在も継続しています。

「介助と障害を巡る旅～ゆうじさんちシアター」



「ともにゃの部屋～黒田真史さん」



下馬人生スゴロク演劇「極楽への道」



「写真クラブ・極楽」



「下馬兵舎時代の思い出の絵地図」



フォーラムシアター「ピンピン、ヨタヨタ、ドタリの話」

